



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)工藤 幸弘  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理グループ長 (氏名)築館 宏治 (TEL)0172(33)8131  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	4,585	△2.1	10	△64.3	61	100.4	24	—
23年9月期第1四半期	4,682	4.2	28	△43.0	30	△36.4	△1	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 9百万円(△66.1%) 23年9月期第1四半期 27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	5 04	— —
23年9月期第1四半期	△0 39	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	9,871	4,119	41.7	860 74
23年9月期	9,183	4,148	45.2	866 78

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 4,119百万円 23年9月期 4,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	— —	— —	— —	8 00	8 00
24年9月期	— —	— —	— —	— —	— —
24年9月期(予想)	— —	0 00	— —	15 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,100	7.8	150	52.0	164	52.5	63	64.6	13 16
通期	20,400	8.9	241	79.1	303	87.4	110	350.7	22 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	4,800,000株	23年9月期	4,800,000株
24年9月期1Q	13,481株	23年9月期	13,481株
24年9月期1Q	4,786,519株	23年9月期1Q	4,792,419株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2 「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気停滞から回復の兆しが見られてきたものの、欧州債務危機による不安や米国経済の減速懸念、円高、株価低迷等の影響により景気の先行きについては、極めて不透明でありました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

しかしながら、前年同四半期と比べ売上高は、45億85百万円と96百万円(△2.1%)の減収、営業利益は、10百万円と18百万円(△64.3%)の減益、経常利益は、61百万円と31百万円(100.4%)の増益、四半期純利益は、24百万円(前年同期は四半期純損失1百万円)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (化学工業薬品)

化学工業薬品では、半導体液晶関連企業の生産調整で減産傾向にありましたので、前年同四半期を下回りました。また、同関連機器については、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で26億70百万円と41百万円(1.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は2億72百万円と7百万円(△2.5%)の減益となりました。

#### (臨床検査試薬)

臨床検査試薬では、診療報酬改定による値引要請や国の医療費抑制策、各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移したため、臨床検査試薬及び同関連機器ともに前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で14億39百万円と1億21百万円(△7.8%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は1億61百万円と23百万円(△12.6%)の減益となりました。

#### (その他)

その他では、食品、農業資材部門が、原料不足による生産調整やデフレ影響による消費低迷など厳しい環境であり、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で4億74百万円と16百万円(△3.4%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は54百万円と6百万円(△9.9%)の減益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、6億88百万円増加し、98億71百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億17百万円増加し、57億52百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、28百万円減少し、41億19百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

#### (資産)

資産の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産の減少の主な原因は、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、平成23年11月14日に公表した平成24年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	812,786	1,351,056
受取手形及び売掛金	4,236,851	4,351,364
商品	502,991	539,190
繰延税金資産	18,712	4,765
その他	118,736	113,269
貸倒引当金	△43,840	△4,071
流動資産合計	5,646,238	6,355,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	481,405	476,433
土地	1,317,199	1,317,199
リース資産(純額)	101,116	113,179
その他(純額)	222,294	232,359
有形固定資産合計	2,122,014	2,139,171
無形固定資産		
のれん	653	326
その他	10,384	9,475
無形固定資産合計	11,038	9,802
投資その他の資産		
投資有価証券	647,397	627,252
リース投資資産	342,182	320,963
その他	452,707	452,790
貸倒引当金	△38,323	△33,604
投資その他の資産合計	1,403,964	1,367,402
固定資産合計	3,537,017	3,516,377
資産合計	9,183,256	9,871,952
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,207,839	4,893,392
リース債務	111,783	112,149
未払法人税等	48,583	24,239
賞与引当金	30,500	—
その他	88,419	198,115
流動負債合計	4,487,125	5,227,897
固定負債		
リース債務	416,390	406,868
繰延税金負債	24,825	16,844
退職給付引当金	15,576	16,710



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
役員退職慰労引当金	61,257	59,990
その他	29,212	23,715
固定負債合計	547,263	524,129
負債合計	5,034,389	5,752,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,416,403	2,402,252
自己株式	△6,557	△6,557
株主資本合計	4,111,345	4,097,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,521	22,730
その他の包括利益累計額合計	37,521	22,730
純資産合計	4,148,867	4,119,925
負債純資産合計	9,183,256	9,871,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,682,010	4,585,272
売上原価	4,156,217	4,096,002
売上総利益	525,792	489,269
販売費及び一般管理費	497,628	479,201
営業利益	28,164	10,068
営業外収益		
受取利息	351	762
受取配当金	3,066	2,852
貸倒引当金戻入額	—	44,487
その他	926	4,129
営業外収益合計	4,344	52,231
営業外費用		
支払利息	32	32
持分法による投資損失	1,148	266
その他	433	86
営業外費用合計	1,614	386
経常利益	30,894	61,913
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	4,000	—
その他	268	—
特別利益合計	4,268	—
特別損失		
投資有価証券評価損	12,865	—
投資事業組合運用損	169	2,643
その他	694	—
特別損失合計	13,730	2,643
税金等調整前四半期純利益	21,431	59,270
法人税、住民税及び事業税	3,140	22,433
法人税等調整額	20,180	12,696
法人税等合計	23,321	35,129
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,889	24,141
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,889	24,141

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,889	24,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,443	△14,790
その他の包括利益合計	29,443	△14,790
四半期包括利益	27,553	9,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,553	9,350
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,628,948	1,561,634	491,427	4,682,010	—	4,682,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,628,948	1,561,634	491,427	4,682,010	—	4,682,010
セグメント利益	280,101	185,238	60,452	525,792	—	525,792

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,670,897	1,439,897	474,477	4,585,272	—	4,585,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,670,897	1,439,897	474,477	4,585,272	—	4,585,272
セグメント利益	272,996	161,823	54,448	489,269	—	489,269

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。